

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	リアリティ・チェック	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：リアリティ・チェック

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ

番

比較対照ボール：オルタード・リアリティ

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

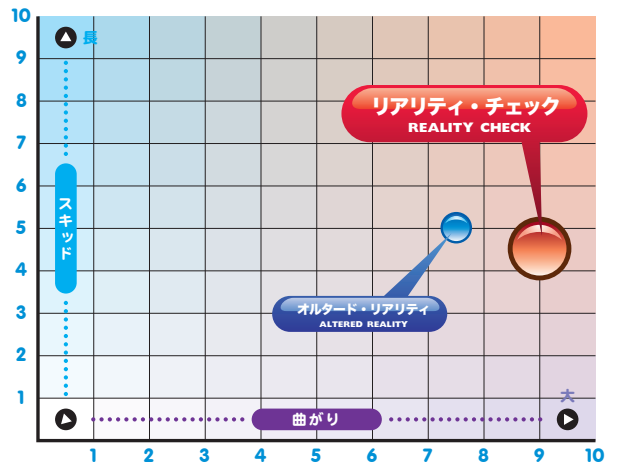
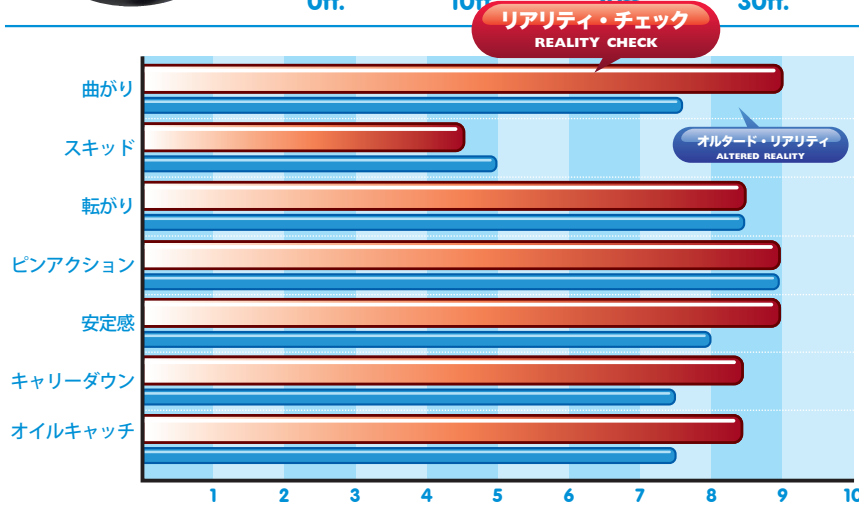
PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

今作のリアリティ・チェックは現行で使用されていたS84カバーストックに新しい添加剤を加えることで、S84領域の幅を広げるだけでなく、新たなパフォーマンスや可能性を導き出してきました。新しく生まれたカバーはS84 ベータ カバーストックと呼ばれるもので、全体的なキャッチ力を上げながらもバックエンドの角度を意識した、「応答性と角度のある動き」をメインに作成されています。新しく追加された添加剤は、今までのS84カバーの凹凸(Ra)を保ちながら細孔を縮小することで、今までのS84カバーと同様のキャッチを出しながらバックエンドの動きを強化させる効果があります。初代リアリティはソリッド素材、オルタード・リアリティはパール素材で今度のリアリティ・チェックがハイブリッド素材(2ソリッド、1パール)という組み合わせです。

テストングで一番感じたのは「曲がりが大きく動きが強い割に扱いやすさを感じた」ことです。光沢度が高い割に全体的にキャッチするイメージがあり、オイルの捉え方から曲がり方までをみると、今までのカバーとは違うニュアンスをこのボールから感じます。キャッチが一段階上がったというか、曲がり始めの安定感とバックエンドの大きさの両方が増した感じがしました。

今回S84カバーにこのテクノロジーが採用されたことは、今後何らかの形で多様化され、スタンダードに反映されるのではないかと思います。

特記事項

S84ベータカバーストックは900グローバルブランドの幅を広げるカバーストックテクノロジーであり、それに留まらず画期的な技術革新でもありと思っています。